

質問順位	10	質問者	木下八重子 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. 江部乙支所機能の充実について	<p>1. 滝川市と江部乙町が合併してから42年が経過しました。合併後の江部乙支所の体制は、部長職の支所長と職員15名でスタートしました。江部乙地区の住民の行政サービスも充実していて、本庁まで行かなくても支所でサービスが受けられましたが、平成13年からは支所長も課長職になり、平成19年からは支所長と主査2名体制で現在に至っています。</p> <p>江部乙地区の振興と活性化を推進するため、江部乙支所機能の充実が必要と考えますが、市長の考えをお伺いします。</p>			
		<p>2. 当市の基幹産業である農業の振興をより推進するため、車の両輪である農政部と農業委員会を江部乙支所に移転し、支所の機能充実を図る考えはないのかお伺いします。</p>			
2. 江部乙地域振興	1. 丸加高原健康の郷の位置付けについて	<p>1. 丸加高原伝習館とグリーンヒル丸加、羊の館については、7月から民間活用事業者を公募することになっていると聞いています。公募では、どのような事業者の活用の可能性があるのかを伺います。</p> <p>また、当市は、健康都市宣言を行っていき、丸加高原にはそらぶちキッズキャンプも設置されています。丸加高原の景観の良さや自然環境を生かした福祉や医療関係での活用の切り口として、例えば末期がん患者の終末医療施設(ホスピス)などの活用は考えられないのかお伺いします。</p>			
	2. 国際田園都市実現に向けて	<p>1. 江部乙地区には、基幹産業ともいえる農業や丸加高原、菜の花畑、桜並木など豊かな自然と農村景観があり、岩橋英遠氏や一木万寿三氏を輩出しているほか著名な文化人もいます。</p> <p>市長が目指す「世界に誇れる国際田園都市」を実現出来るステージは江部乙地区において他にないと言えるのではないのでしょうか。市長の考えをお伺いします。</p>			

質問順位	10	質問者	木下八重子 議員	
件名	項目	要旨		メモ
	3. 人口増加のための環境整備について	1. 住民が生活する上で必要な上下水道ですが、江部乙地区農村部には水道給水区域外が多くあります。田園都市としての人口や交流人口を増やしていくためには、住民が生活する上で水道は不可欠です。今後、中空知広域水道企業団と調整し、水道の給水エリアを広げる考えはないか、お伺いします。		
	4. 公営住宅の建て替えについて	1. 当市の道路、公園などの都市機能の整備水準は評価しています。一方、居住環境については、公営住宅の建て替え等が進まないなどの課題があると思います。 江部乙地域を根本的に活性化させる手段として、老朽化している江南団地の建て替えを前倒しして、居住者を増やす考えはないのかお伺いします。		